

令和4年度事業報告

施設名 まりも園

1 総 括

コロナ禍の状況の中で、まりも園が提供する各種サービス（特別養護老人ホーム・デイサービス・居宅介護支援）は、利用者及び家族の生活を継続する上で欠かせないものであるため、まりも園に携わる全ての方々の多大なる理解と協力のもと十分な感染対策を講じながら、利用者に対し必要な各種サービスを継続的に提供することができるよう努めました。

令和3年4月より実施された東京都の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針における新たな集中的実施計画に基づき、まりも園では、利用者、家族及びまりも園に携わる全ての方々の命を護る観点より、全職員を対象に令和3年5月7日から令和5年3月31日までの期間にPCR検査を毎週、実施しました。

全職員が利用者の生活を守る福祉従事者としての自律ある行動を心掛けて参りましたが、令和4年12月12日に特養の利用者1名の新型コロナウイルスへの感染の発生を皮切りに、特養の利用者35名、特養の職員9名、デイの職員1名、合計45名に感染が拡大しました。感染者及び濃厚接触者に当たる特養の利用者に対しては、感染拡大防止の観点より、隔離対応、ガウンテクニック（マスク・ガウン・ディスポ・ゴーグルの着用）、消毒、対応職員の人数抑制（できる限り対応する職員を限定すること）の対応と、特養の全利用者の体温・脈拍・酸素含有飽和度を朝・昼・夕に行い、新規感染者の早期発見及び対応に努め、新規感染者に対しては、一般社団法人国分寺市医師会並びに国分寺病院の医師及び看護師のお力添えをいただき、中和抗体の点滴を実施し、感染症の終息に向けて取り組みました。感染者の隔離期間の解除についても同様に医師の助言及び指示を受け対応し、職員の自宅療養期間については厚生労働省の基準に則り対応しました。

施設管轄保健所より、令和5年1月25日に新型コロナウイルス感染症のクラスター終息のご判断をいただき、終息を宣言しました。

このような状況の中で、利用者の外出の機会は少なくなりましたが、全職員が一丸となり、まりもビル屋上の一角に特養では「MARIMO FARM」、デイでは「まりも村」を設置し、利用者と共に野菜等を育て、収穫し、調理し、その野菜等を召し上がっていただく機会や、月に1回以上、季節の行事を実施し、利用者の楽しみや生き甲斐を見出せるよう努めました。

地域連携では、地域の方々がひとりにならずに住み慣れた地域で楽しみを見つけ出すことを目的に、オレンジカフェ喫茶まりも「ノスタルジア」を令和4年12月4日より、毎月第一日曜日（1月のみ第三日曜日）の開催を位置付け、始動しました。

また、月に1回以上の園内研修及び各職種の「主な業務内容」、「特に知ってもらいたいこと」、「現在抱えている課題」をテーマとしたチームケア研修を計画的に開催し、職員の知識及び技術の向上を図ると共に、全職員が特養、デイ、居宅の3つの事業及び職務を理解することができました。

今後も、利用者や家族、地域社会や地域住民からも信頼され必要とされる施設運営と、全職員が共助し合えるような職場環境の構築を目指します。

2 重点目標の取り組みと来期の課題

1. 提供するサービス

1) 【 特養・デイ 】

【目標】

「食・育・楽」をテーマに農園活動を行い、利用者の生活の質の向上を目指します。

【取り組み状況と結果】

まりもビル屋上の一角に特養では「MARIMO FARM」、デイでは「まりも村」を設置し、利用者と共に野菜等を育て、収穫し、調理し、その野菜等を召し上がっていただきました。

コロナ禍により外出機会が減少する中、天候が良好の際に希望される利用者と共に農園活動を行った結果、利用者の屋上への移動動作や野菜等の収穫作業による身体機能、外気に触れ四季を感じながら土を弄る懐古支援による精神機能、野菜等の成長を利用者間で会話することによる認知機能が向上し尚且つ、収穫した野菜等を利用者と共に調理し召し上がっていただくことにより、利用者の楽しみや生き甲斐にも繋がり、生活の質を向上することができました。

また、全利用者が収穫を体感できるようジャガイモ堀大会をフロアで開催し、新たなイベントを作り出すことができました。

活動の様子については、毎月ホームページに掲載し、外部の方々より活動の様子がわかりやすく、楽しそうな雰囲気伝わったとの声もいただき、広報活動の一環にも繋がりました。

以下に育てた野菜を記します。

特養：イチゴ・ミニトマト・キュウリ・ナス・ピーマン・枝豆・サツマイモ・ペピーノ・スイカ・メロン・パッションフルーツ・ニンニク・二十日大根・大根・バジル・オクラ・ブロッコリー・小ネギ・玉ネギ・ジャガイモ・ベビーキャロット。

デイ：春菊・小カブ・パセリ・インゲン・リーフレタス・ミニトマト・キュウリ・ナス・ピーマン・ラディッシュ、ブロッコリー、芽キャベツ、サンチュ、ワケギ、空心菜。

【今後の課題】

「MARIMO FARM」には段差があり、車椅子を利用される方が農園の中まで入ることができないため、全利用者が参加できるよう、屋上のスロープ設置及びフロアでもプランター等を設置します。

2. 人材育成

1) 【 特養・デイ・居宅 】

【目標】

全職員が特養、デイ、居宅の3つの事業を理解し、共助し合える一体的な運営を目指します。

【取り組み状況と結果】

4月：特養相談、5月：特養介護、6月：栄養調理、7月：特養機能訓練、8月：デイ介護、9月：デイ相談、10月：特養医務、11月：居宅、12月：事務、2月：洗濯場のチームケア研修を実施しました。

内容は、「主な業務内容」、「特に知ってもらいたいこと」、「現在抱えている課題」をテーマとしました。各部署の担当者は資料の作成及び、講師（発表役）を実施しました。研修の対象は全職員とし、研修に不参加の職員については、後日に録画した研修を見て報告書を提出することとしました。

チームケア研修を毎月開催した結果、他部署の業務を理解することで、その部署に協力及び、連携して欲しいことを具体的に共有することができました。また、研修担当者は資料作成を行うことで、自身の部署の役割を再確認し、業務を見直す機会にもなりました。

【今後の課題】

令和5年度は次のステップとして、実際に他部署の業務を体験するために、「まりも園職種体験」を実施し、より一層の業務理解を深め、風通しの良い組織風土を構築し、職員個々のスキルアップを目的とした交換研修及び、内部異動の実現を目指します。

2) 【 特養・デイ・居宅 】

【目標】

まりも園内の事業間及び複合施設である、まりもビル内の「くるめ園」、「まりも園」間で出向並びに交換研修を行うことで職員の介護技術及び知識の向上を目指します。

【取り組み状況と結果】

2月1日(火)～4月30日までの期間、くるめ園より生活支援員1名の出向研修を特養部門で受け入れました。

根拠法の異なる相互の利用者の特性と生活環境の相違より、相互の職員が情報共有することで各々の職員の知識及び介護技術の向上に繋がりました。また、事業間及び法制度の垣根を超えた職員間の信頼関係を構築することができました。

【今後の課題】

特養とデイ部門での園内の交換研修を目指します。特養の職員はデイで接遇マナー及び、レクリエーションの技術等を学び、デイの職員は特養で介護の技術及び、医療知識等を学ぶ機会を設けます。

令和5年5月より、特養介護士1名がデイ部門へ、デイ介護士1名が特養部門への交換研修を予定しています。

3. 地域連携

1) 【 特養・デイ 】

【目標】

オレンジカフェを立ち上げ、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場を提供し、地域社会や地域住民からも信頼され必要とされる施設運営を目指します。

【取り組み状況と結果】

デイ生活相談員(委員長)、特養生活相談員(副委員長)、デイ介護職員2名、特養機能訓練指導員、栄養士及び管理者の合計7名で構成する「まりも園オレンジカフェプロジェクトチーム」を設置し、6月21日、7月8日(他事業所調査)、7月25日、8月24日、9月26日に会議を開催し、10月28日に喫茶まりも「ノスタルジア」のプレゼンテーションを小平市高齢者支援保健・医療・介護連携の担当者と地域包括支援センター職員に対し実施後に計4回、認知症のある方、その家族そして、年齢を問わず様々な年代の地域の方々を対象に、地域の方々がひとりにならずに住み慣れた地域で楽しみを見つけ出すことができることを目的に、茶話会・介護予防体操・レクリエーション・専門職との相談ができる場となる、喫茶まりも「ノスタルジア」を開催しました。

地域の方々に喫茶まりも「ノスタルジア」を知っていただくため、パンフレットを作成し宣伝活動を行った結果、12月4日に8名、1月15日に1名、2月5日に2名、3月5日に14名の延人数25名にご利用いただきました。

【今後の課題】

2月6日に、まりも園オレンジカフェプロジェクトチームメンバー含む9名の職員が小平市の開催する「キャラバン・メイト養成研修」に参画し、「認知症サポーター養成講座」の講師役を務める準備を行いました。

地域の方々を対象に、まりも園主催にて「認知症サポーター養成講座」の実施を目指します。

4. 財政健全化

1) 【 特養 】

【目標】

空床型短期入所生活介護を含み、稼働率97%を目指します。

【取り組み状況と結果】

生活相談員は新規入所の待機者を常に2名以上を確保することと、退所から新規入所の期間を2週間以内とすることに努めましたが、年間退所者数が20名（前年度16名）と多かったこと、9月に風邪症状及び12月に新型コロナウイルスのクラスターが発生したことにより、新規入所及び空床型短期入所生活介護（ショートステイ）の受入れを中止したため、年間稼働率は91.3%となり、目標の数値には至りませんでした。

【今後の課題】

入所申込者数の動向は年々減少し、入所申込から入所までの待機期間も短くなっている状況です。入所申込者の現況調査を定期的に行っていますが、申込から2ヶ月程度経過されている方で、既に他施設に入所されている方や他施設の入所調整をしている方が多くいる状況です。

まりも園は開設以来、武蔵野市及び、小平市のみを優先入所とし対応していましたが、広域型特養であるため、令和5年度より武蔵野市及び小平市以外の入所の受入れを実施します。

2) 【 デイ 】

【目標】

介護予防・日常生活支援総合事業を含み、稼働率80%を目指します。

【取り組み状況と結果】

生活相談員は居宅介護支援事業所の介護支援専門員へ、毎月細やかに作成した利用者個別のモニタリング資料と、日々の活動内容を記した広報誌を用い情報提供及び宣伝活動を行い、新規利用者の受け入れに努めましたが、年間新規者数が19名（前年度11名）に対し、年間終了者数が20名（前年度12名）と多かったこと、7月に新型コロナウイルス感染者が発生し、12月に特養にて新型コロナウイルスのクラスターが発生したことにより、利用を自粛される方が多く発生したため、年間稼働率は介護予防・日常生活支援総合事業を含み、71.9%（17.9名/日）となり、目標の数値には至りませんでした。

【今後の課題】

より多くの新規利用者を受入れるため、他事業所にはない強み・魅力を考えた結果、言語聴覚士による「喉筋体操」を毎週実施することとなり、宣伝活動のためチラシを作成しました。生活相談員は居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターへ、事業運営のPR及び空き状況等

の報告を綿密に行い、新規利用者の受入れに努めます。

3) 【 居宅 】

【目標】

稼働率 65%を目指します。

【取り組み状況と結果】

5月1日より居宅介護支援専門員の人員を1名から2名に増員しました。5月から7月の期間、新規利用者10名を受け入れましたが、8月31日に増員した居宅介護支援専門員1名が退職に至ったため、居宅介護支援専門員の人員は9月1日より1名体制に戻りました。退職に至った居宅介護支援専門員のケースはまりも園の信用失墜に至らぬよう、残った居宅介護支援専門員1名が全て引継ぎ対応しました。

居宅介護支援専門員の人員が1名体制となったため、年間稼働率は86.1%となり目標の数値は達成しましたが、目標としていた居宅介護支援専門員の人員を2名体制とすることはできませんでした。

【今後の課題】

まりも園居宅介護相談支援センターが中枢機関となり、通所介護及び空床型短期入所生活介護（ショートステイ）の利用に結び付ける組織形成の構築を継続します。居宅介護支援専門員の人員を増員し、安定した事業の運営を目指します。

3 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
3/21	職員の接遇（言葉遣い）について	3/20に行われた第三者委員活動に於いて、入所者より特定の職員の接遇（言葉遣い）について、3/21に報告書より苦情が挙げられました。 3/21に管理者は職員の聞き取りを行い、4/13に是正を図るために訓告を行った上で、申立人に対し顔合わせの機会を設け、職員より謝罪し解決に至りました。

4 発生した事故の内容

【 特養 】

種別	件数	摘 要
重大事故	3件	怪我関連：3件 骨折：4/17 7:10 朝の離床介助の際、左膝関節が弛緩状態でした。 左足大腿部に腫脹と不自然な屈折があり、骨折の可能性があるため救急外来にて受診した結果、左大腿骨体部骨折にて入院となりました。 ➡ 医師より、外部からの力による骨折と考えられるが、骨粗鬆症が進行しており、普段と同様の介助をしていても骨折してしまうことがあるとの助言を受けました。 どんなに丁寧に介助をしても、防ぐことのできない骨折事故はあり

		<p>ますが、身体介助を行う際には、より丁寧且つ安全に支援を行うよう、介護部門は各グループ会議、医務部門は医務室会議で事例検討を行った上で、再発防止の徹底を図りました。</p> <p>骨折：7/15 9：50 フロアにて、自席隣の席の椅子とともに左仰臥位に転倒されていました。</p> <p>左足可動域時に痛み強く、救急要請を行い病院へ搬送した結果、左大腿骨頸部骨折にて入院となりました。</p> <p>➡ 障害物及び、狭い通路をなくし、利用者が移動しやすい環境を整備しました。</p> <p>退院後、当該利用者の移動支援は車椅子となりましたが、椅子センサー及び、ベッドセンサーを使用し対応することとしました。</p> <p>骨折：2/7 21：31 床センサーが作動し、夜勤職員は他利用者の対応後に訪室すると、ベットより1m離れた自室洗面台にうつぶせに転倒されていました。</p> <p>左眉付近5cmの裂傷により多量の出血があったため、救急要請を行い病院へ搬送し、5針の縫合の処置を行い、帰園されました。</p> <p>➡ 日中は椅子センサー及び、夜間はベットセンサーを使用し、センサー作動時には転倒リスクが高いため早急に対応を行うこととしました。</p>
--	--	--

【 デイ 】

種別	件数	摘 要
重大事故	1件	<p>怪我関連：1件</p> <p>骨折：9/6 16：15 トイレ前にて、仰向けに転倒されていました。</p> <p>後頭部に発赤が見受けられたため、病院を受診しCTの検査を行いました。問題はありませんでした。</p> <p>9/8 背部の痛みがあり病院を受診した結果、背骨の骨折が確認されました。</p> <p>➡ 歩行器を使用し歩行される利用者に対しては、歩行動作時にふらつきからの転倒に至る危険性があるため、必ず付き添い援助を行うこととしました。</p>

5 職員体制（令和5年3月31日）

職種	施設長	副施設長	事務員	相談員	ケアマネ	介護職	医師	看護	柔道整復師	栄養士	調理員	フロアパート	洗濯員	運転員	計
職員数	1	1	2	2	1	24	2	8	2	2	9	3	3	2	62

内常勤	1	1	2	2	1	14	0	2	1	1	4	0	0	0	29
常勤 換算	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	23.3	0.2	4.2	1.3	1.8	7.7	1.1	1.3	0.7	48.6

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
チームケア研修（特養相談）	特養生活相談員	全職員	4月5日	42名
ケアプラン研修	特養生活相談員	介護職員	4月13日	1名
ハラスメント防止研修	施設長	全職員	4月19日	37名
チームケア研修（特養介護）	特養介護主任	全職員	5月10日	44名
事故発生防止研修①	機能訓練指導員	特養デイ介護	5月24日	18名
チームケア研修（栄養調理）	管理栄養士	全職員	6月7日	44名
身体拘束適正化研修①	特養リスク委員	特養デイ介護 医務	6月21日	19名
新入職員研修	施設長	介護職員	7月4日	2名
チームケア研修（特養機能訓練）	機能訓練指導員	全職員	7月5日	41名
緊急時対策研修	特養医務相談	特養デイ看護 医務	7月19日	21名
チームケア研修（デイ介護）	デイ介護副主任	全職員	8月9日	38名
感染症対策研修①	管理栄養士	全職員	8月16日	40名
チームケア研修（デイ相談）	デイ生活相談員	全職員	9月6日	38名
新入職員研修	施設長	介護職員	9月14日	2名
BCP研修（感染症対策編）	施設長	全職員	9月20日	42名
ケアプラン研修	特養生活相談員	介護職員	9月21日	1名
BCP研修（災害対策編）	施設長	全職員	10月18日	39名
チームケア研修（特養医務）	特養医務主任	全職員	10月18日	37名
チームケア研修（居宅）	居宅主任	全職員	11月8日	37名
事故発生防止研修②	特養リスク委員	特養デイ介護 医務	11月22日	36名
身体拘束適正化研修②	特養生活相談員	特養デイ介護 医務	11月22日	35名
チームケア研修（事務）	事務員	全職員	12月6日	41名
高齢者虐待防止研修	施設長	全職員	12月20日	37名
ケアプラン研修	特養生活相談員	介護職員	1月13日	1名
褥瘡予防対策研修	施設長	特養デイ介護 医務	1月24日	30名
チームケア研修（洗濯）	洗濯職員	全職員	2月14日	40名

感染症対策研修②	管理栄養士	全職員	2月28日	38名
コンプライアンス研修	施設長	全職員	3月14日	

2) 施設外研修

研修名・テーマ	主催	参加職種	開催時期	延人員
東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修	東京都福祉保健局	施設長	10月24日	1名
登録講師派遣事業研修 後輩育成 OJT を学ぶ	東京都福祉保健局	施設長・副施設長・各部署主任/副主任	11月14日	10名
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健局	施設長	11月16日	1名
財務マネジメント中級研修	法人本部	施設長・副施設長	11月29日	2名
組織をよりよくするための環境づくり研修	法人本部	施設長	1月30日	1名
安全対策体制加算対応研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	介護職員	3月15日	1名

7 サービス単位ごとの年間利用者延べ総数

区分	利用者延べ数
特別養護老人ホーム	16,661名
デイサービスセンター	5,574名
居宅介護支援事業所	436名

8 行事の実施状況

【 特養 】

実施月日	行事名	参加者			
		利用者	職員	その他	計
3/20～4/3	お花見	43	6	0	49
4/23	誕生会	49	2	0	51
5/2～4	菖蒲湯	48	6	0	54
5/21	春行事	49	14	0	63
5/28	誕生会	49	2	0	51
6/5	ホーム喫茶	47	12	0	59
6/25	誕生会	48	5	0	54
7/23	誕生会	47	4	0	51
7/31	納涼祭	47	22	0	69
8/21	ホーム喫茶	47	12	0	59

8/27	誕生会	46	3	0	49
9/17	敬老会	44	14	0	58
9/24	誕生会	43	4	0	47
10/28	誕生会	43	2	0	45
10/28	秋行事	41	13	0	54
11/20	ホーム喫茶	47	10	0	57
11/26	誕生会	46	2	0	48
11/25	じゃがいも堀大会	40	4	0	44
2/3	節分会	43	2	0	45
2/4	新年会	41	13	0	54
2/18	誕生会	45	2	0	47
3/3	雛祭り会	45	1	0	46
3/25	誕生会	45	1	0	46
3/26	ホーム喫茶	44	9	0	53

【 デイ 】

実施月日	行事名	参加者			
		利用者	職員	その他	計
4/1.2.7.9	お花見会	16	12	0	28
4/13	お寿司パーティー	20	8	0	28
4/19	春の大運動会	21	9	0	30
4/21	お誕生日茶話会	2	2	0	4
4/30	夕食会	13	6	0	19
5/5	端午の節句の会	18	8	0	26
5/6	母の日会	19	9	0	28
5/25	お誕生日茶話会	1	1	0	2
5/28	夕食会	18	6	0	24
6/8	手作り夏野菜カレーパーティー	22	6	0	28
6/15	まりもワールド	22	9	0	31
6/17	父の日会	17	7	0	24
6/25	夕食会	13	5	0	18
6/29	お誕生日茶話会	2	2	0	4
7/1.27	お誕生日茶話会	2	2	0	4
7/7	七夕会	13	7	0	20
8/8.13.19	お誕生日茶話会	6	6	0	12

8/17	夏祭り	24	8	0	32
8/27	夕食会	16	5	0	21
9/16	長寿を祝う会	20	7	1	28
9/21. 27	お誕生日茶話会	3	3	0	3
9/24	夕食会	14	5	0	19
10/11	秋の大運動会	23	8	0	31
10/18. 22. 26	お誕生日茶話会	5	5	0	10
10/19	B B Q大会	18	6	0	24
10/29	夕食会	15	5	0	20
11/17	小金井公園紅葉狩	20	8	0	28
11/21. 23. 28	お誕生日茶話会	4	4	0	8
12/16	お誕生日茶話会	3	3	0	6
12/23	クリスマス会	15	8	0	23
12/24	夕食会	14	5	0	19
12/30	忘年会	18	8	0	26
1/4. 5. 6. 7. 9. 10	初詣	31	18	0	49
1/12	新年会	18	8	9	35
1/13	お誕生日茶話会	2	2	0	4
1/28	夕食会	16	5	0	21
2/3	節分会	17	7	0	24
2/14	バレンタインデー会	17	7	0	24
2/21	お誕生日茶話会	2	2	0	4
2/25	夕食会	15	5	0	20
3/3	ひな祭り会	17	8	0	25
3/20	お誕生日茶話会	2	2	0	4
3/22. 24. 27. 29. 31	お花見会	28	15	0	43
3/25	夕食会	17	4	0	21